

Q.これまでの固定化回避検討会の検討状況について教えてください

A

2021年の検討会では、羽田空港において技術的に採用が可能で、かつ、採用した場合の騒音軽減効果が高いと考えられる飛行方式として、2つの方式を選定いただきました。

2022年8月に開催した第5回検討会では、飛行方式に関する技術的検証の進捗状況や今後のスケジュール等について報告が行われました。

検討会での議論等を踏まえ、引き続き、新飛行経路の固定化回避に向けて必要な取組を着実に進めてまいります。

参考URL：<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001493843.pdf>